

平成29年度市町村経済統計の概要

建設業や農業がプラスの影響を与え、経済成長率は21市町村でプラスとなり、市部計、郡部計ともに5年連続のプラス成長となった。

市部では土佐市の市複合文化施設や須崎市の須崎総合高校校舎などの大規模な建設事業が牽引し、郡部でも農業のほか、北川村の北川村温泉や仁淀川町の本庁舎の建て替え等によりプラスとなった。

1 高知県経済の動向

雇用環境は、有効求人倍率が更新を続けるなど、前年度に引き続き雇用環境が順調に改善した。

農業では、安芸市や四万十町等においてナス、トマト等の次世代園芸型ハウスの整備が続き、環境制御技術の普及が進められたこと等から、主要品目で生産量が増加した。

水産業は、漁船漁業の漁獲量全体では減少傾向が続いたもののマグロ類等で増加し、海面養殖業では須崎市や宿毛市等でぶり類及びまだいが増加した。

製造品出荷額等は、国内外ともに比較的景気が回復基調にあったことを受け、首都圏の再開発や東京五輪に向けた需要などで鉄鋼、窯業・土石（セメント等）で増加したほか、パルプ・紙、木材・木製品製造業等も増加し、前年比2.3%増の5,809億円となった。

県内の公共投資は、高知南国道路の延伸工事や高知市中心部の「オーテピア」の整備などの大型公共事業が引き続き行われたほか、南海トラフ地震対策として、浦戸湾周辺の堤防の補強等を行う国直轄事業や市町村の新庁舎整備が相次ぐなど、引き続き高水準となった。

小売業では、近年ドラッグストア等の大型店舗の新規出店が続き競争が激化する状況が見られ、高知市、須崎市等では地域スーパーの閉店が相次いだ。

観光では、平成29年3月に開幕した「志国高知 幕末維新博」の開催等により県外観光入込客は440万6千人と推計され、5年連続で400万人を超えた。特に3月に新しく開館した高知城歴史博物館では、年間目標の12万人を大幅に超える18万3千人の入館者数を記録した。

こうした中で、平成30年1月に日銀高知支店は、世界経済、日本経済の拡大が高知にも波及しているとして、県内景気の総括評価を「緩やかに回復している」から「回復している」へと1年ぶりに引き上げた。

2 市町村内総生産

(1) 市部と郡部

市部は土佐市の69億円（対前年比9.8%）の増等により、164億円増の2兆573億円（同0.8%）と5年連続のプラス成長となった。郡部もいの町の28億円（対前年比4.3%）の増等により、26億円増の3,721億円（同0.7%）と5年連続のプラス成長となった。経済活動別では、市部は建設業が、郡部は農業が寄与した。

(2) 市町村別

市町村別にみると、プラス成長は、建設業の増加が寄与した北川村（23.0%）、本山町（10.9%）及び土佐市（9.8%）、水産業の増加が寄与した大月町（9.8%）など、21市町村（前年度17市町村、対前年+4団体）となっている。

一方、マイナス成長は、建設業の減少が寄与した大川村（△20.7%）、檮原町（△19.0%）及び黒潮町（△7.8%）など、13市町村（前年度17市町、対前年△4団体）となっている。

(3) 総生産の構成比

市町村ごとに産業別構成比の1位を見ると建設業が9団体、次いで製造業及び保健衛生・社会事業が各8団体、農業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業及び卸売・小売業が各2団体、水産業、不動産業、公務が各1団体となっている。

産業別に、総生産が県内1位の市町村を見ると、林業は四万十市、水産業は室戸市、鉱業は仁淀川町、他の産業はすべて高知市となっている。

(4) 主要指標

	29年度		28年度	
① 市町村内総生産額と経済成長率	2兆4,295億円 (+0.8%)		2兆4,105億円 (+1.0%)	
② 市部・郡部別の総生産額と経済成長率	市部 郡部	2兆573億円 (+0.8%) 3,721億円 (+0.7%)	市部 郡部	2兆409億円 (+0.9%) 3,696億円 (+1.3%)
③ 市部・郡部別の総生産額の構成比	市部 郡部	84.7% 15.3%	市部 郡部	84.7% 15.3%
④ 総生産額が1,000億円を超える市町村	高知市 南国市 四万十市	1兆2,027億円 (△0.3%) (※県内総生産の49.4%) 1,938億円 (△2.1%) 1,149億円 (+1.1%)	高知市 南国市 四万十市	1兆2,065億円 (+2.3%) (※県内総生産の50.1%) 1,979億円 (△2.9%) 1,136億円 (△1.7%)

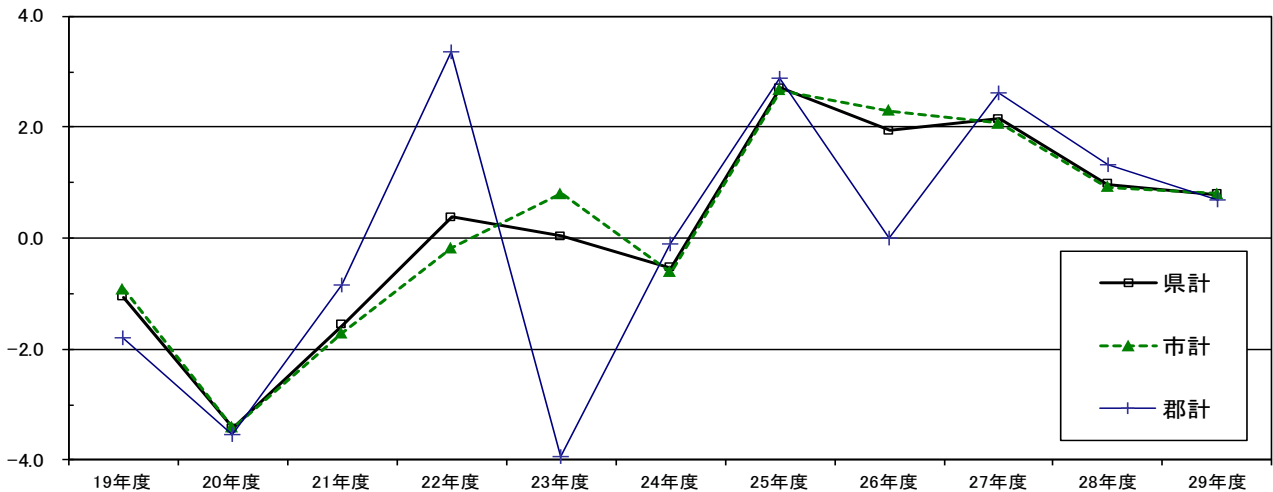
経済成長率のプラス・マイナス別市町村数

	29年度	28年度
プラス成長	21	17
マイナス成長	13	17

寄与度第1位産業 (%)

	29年度		28年度	
	産業	寄与度	産業	寄与度
県	建設業	+0.2	建設業	+0.8
市部	建設業	+0.3	建設業	+0.9
郡部	農業	+0.3	農業	+0.8

(5) 経済成長率の推移



(単位: %)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
県計	-1.1	-3.4	-1.6	0.4	0.0	-0.5	2.7	1.9	2.2	1.0	0.8
市計	-0.9	-3.4	-1.7	-0.2	0.8	-0.6	2.7	2.3	2.1	0.9	0.8
郡計	-1.8	-3.6	-0.8	3.4	-3.9	-0.1	2.9	0.0	2.6	1.3	0.7